

百万の労働者中組織されるもの数は二十五年に達し
織労働者と虽もその過半は協同主義の長名を以て認められ
てゐる、殊に労働運動の中心たるべき大工場立地の必山
の労働者は尚充分なる組織を見ずして賃金争ひ等、毎
年に暴闘されつゝ、ある、其の無産大衆に組織を以て階
級的に教化し吾等の戦線も擴大することとせば、労働
級に對して最も有力に抗争する所以であり且吾等が此
労働者の使命なりと確信する、然るに吾国労働運動の
中には尚ほ理論的に一個の範疇を定め其の範疇の中は
運動を當て箱外人とする謬想も潜在して居り、此等過
去の体験に基いて此の謬想を再び我等の思慮の甲に次
長とし、はなならない、吾等も常に指導精神を研鑽し把握

すると共に現実運動の発展に重心を置く事と志すは
なりぬ、斯くて我等は理論的にも現実的にも透徹せる信
念を以て階級的勢力の増大に伺つて突進し得るのじあ
る、吾國の社会状態を見るに財界の不況は益々深刻と
せぬ無数の失業者は巷に彷徨し労働不安は愈々濃厚の
度を如一つ、ある此の時、當り政府は不曽有の悪法た
る治安維持法を制定して無産階級運動を弾圧すると共
に一面不完全ながらも普通選挙を制定し又労働法制定を
立案し以て階級闘争を緩和し懐柔せんとしつゝある、其
の難局に於て我等が具体的に採らんとする方策は、
一 國際政策に關しては國際労働組合運動の完全なる
一致の實現のために努力し其が一步として東洋に